

貸出しできない資料（新聞、郷土資料、貴重図書、辞典類、特許公報類等）に限って複写申込みに応じているが、本年度は申し込みが激増し、昨年度の9倍近い298件にのぼっている。→（表6）

(4) 相互協力

自館だけでなく、広く県内外の図書館網を利用できる体制が必要になってきている。これに応ずるものとして、資料の相互貸借、相談事務の相互協力とがあるが、本年度、資料相互貸借では、貸出しは新潟県立図書館など8館へ、借受けは神奈川県立図書館など4館、また相談事務の他館への照会は国立国会図書館への4件、他館からの照会は熊本県立図書館などから7件となっている。今後は全国の図書館組織をよく利用し、全国の図書館からよく利用されるような図書館へと心がけなければならない。

(5) 補助資料（ツール）の作成

① 新聞クリッピング

情報提供の有力な資料源としての新聞は貴重である。当館では昭和29年より「福島民報」、<sup>2</sup>「民友新聞」、両紙から、参考になる記事を切り抜き利用に備えているが、利用度は年々高くなってきている。本年度は約1,200枚の切り抜きが作られ、ファイルされた。特集としてまとめられたものには、「わが郷土明治百年」「ふるさとの風雪」「東北縦貫自動車道」「水をひらく」「牛乳を追跡する」「福島をになう事業と人」などがある。

② 特許関係県内出願者名簿

特許庁から発行されている特許、実用新案、意匠、商標の各公報の中から、県内から出願されたものを抜き出し、発明の名称、出願人、公告番号などを記録した名簿を作成しているが、昭和43年中の出願件数は特許36件、実用新案26件、意匠13件、商標149件であった。またこのうち特許、実用新案の名簿は館報「あづま」に掲載して広く紹介した。

(6) 特別貸出

図書館にあってはならないことであるが、原則として貴重図書や高価な図書は館外に貸出さないことにしているが、官公庁、報道関係等に提供しなければならない場合がある。その目的は調査・研究のためと限定しているが、その果たしている役割は大きい。→（表7）

表1 利用者数（昭和43.4～44.3）

職業別	館内 (人)	館外 (人)	計 (人)	構成比 (%)
児童	5,349		5,349	5.3
中学校	4,908		4,908	5.0
高校生	37,302	3,864	41,166	41.1
大学生	15,912	7,323	23,235	23.2
教員	335	312	647	0.6
公務員	1,286	1,166	2,452	2.4
銀行・会社員	1,793	1,249	3,042	3.0
運輸・通信業	241	239	480	0.5
農業	117	37	154	0.2
商業	217	163	380	0.4
工業・技術者	131	175	306	0.3
自由業	153	114	267	0.3
主婦	126	770	896	0.9
無職	2,072	1,271	3,343	3.3
その他	12,266	1,297	13,563	13.5
計	82,208	17,980	100,188	

開館日数 282日 1日平均 355人

表2 利用図書冊数（昭43.4～44.3）

NDC	冊数	館内 (冊)	館外 (冊)	計 (冊)	構成比 (%)
0 総記		3,047	733	3,780	6.5
1 宗教・哲学		473	1,389	1,862	3.2
2 歴史・地誌		1,917	2,059	3,976	6.9
3 社会科学		2,555	4,100	6,655	11.5
4 自然科学		1,215	1,830	3,045	5.2
5 工学・工業		547	867	1,414	2.4
6 産業		635	655	1,290	2.2
7 芸術・娯楽		848	1,705	2,553	4.4
8 語学		579	580	1,159	2.0
9 文芸		2,392	13,276	15,668	27.0
児童		14,754	1,200	15,954	27.5
雑誌		522	173	695	1.2
計		29,484	28,567	58,051	

1日平均利用冊数、人員 206冊 355人  
 (うち館内 105冊 291人)  
 館外 101冊 64人)

表3 館外個人貸出者登録者数（昭43.4～44.3）

職業別	人員 (人)	男 (人)	女 (人)	計 (人)	構成比 (%)
高校生		357	449	806	28.8
大学生		622	553	1,175	42.0
各種学校生		68	117	185	6.6
公務員		148	36	184	6.6
会社員		123	56	179	6.5
団体職員		44	10	54	2.0
商業		24	6	30	1.1
農業		13	2	15	0.6
自由業		8	1	9	0.3
主婦			88	88	3.1
無職		32	20	52	1.8
その他		7	9	16	0.6
計		1,446	1,347	2,793	

表4 記録された参考質問の分析

質問類型	主題に関する分析										質問形成による分析				
	郷土	総記	思想	歴史地誌	社会科学	自然科学	工学工業	産業	芸術	語学	文芸	計	口答	電文	
個人・団体に関する事	38	3		6	9	3	3	3	5		3	73	40	24	9
歴史に関する事	11			6			2	4	3		3	29	21	6	2
地理・地名に関する事	9		1	6			2	1			2	21	12	7	2
言葉に関する事	6	2	2		7		2		1	7	3	30	19	10	1
統計・データに関する事	11			3	7	11	6	1			2	41	22	17	2
法規・手続きに関する事	3				13	3	3				3	25	18	5	2
写真・図版に関する事	5		2	2	4		4	2	2		3	24	16	7	1
最近のニュースに関する事	4			2	11						4	21	13	8	
事物の内容に関する事	14	3	2	3	4	9	8	4	3		11	61	41	13	7
書誌に関する事	24	6	2	2	23	12	5	4	6	2	16	102	59	26	17
計	125	14	9	24	84	38	35	19	20	9	50	427	261	123	43